



GREEN CONSUMER OSAKA NETWORK NEWS

2010
10月号

持続可能な地球環境を次世代に引き継ぐために、大量消費社会から資源循環型社会を目指そう！

[発行] NPO法人グリーンコンシューマー大阪ネットワーク ●〒553-0006大阪府福島区吉野4-17-11スペース[エコロジー・ラボ]D-1
●郵便振替00920-8-154437●年会費1口2000円(個人1口以上、学生半口以上、団体3口以上、賛助会員(会社)5口以上)
●TEL&FAX: 06-6462-2775●http://www.geocities.jp/gconosaka/●gcon-osaka@mail.goo.ne.jp



定期活動報告①

学校紙ごみ「もったいないやんか」プロジェクト

大阪市の燃焼ごみの実態は49%が紙類と大きなシェアを占め、まさに「もったいないやんか」は温暖化の主原因であるCO₂削減にむけて、昨年は多くの環境市民団体と環境局の担当者が「ごみ削減」を徹底的に検証し、実行に移す方策を何度も話し合いました。結果、2009年の4月から紙ごみは資源に分別され、学校も「事業系」として分別回収の対象となったのです。いままで焼却されていた「紙ごみ」は循環型リサイクル商品として生き返るようになったのです。ちなみに7月現在で120校を超える学校と覚書を交わしています。

今後は、学校から持ち帰ったプリントや教科書等使い終わったものの命をもう一度吹き返すためには、従来の集団回収のような家庭と地域を繋ぐものがいります。戸建てが多かった時代から、今は高層マンションへと居住環境が変化の中で、地域のあり方も当然以前とちがうものとなっているでしょう。「紙」が縁で新しい小学校校区単位の地域コミュニティが結ばれるのではと、「環境」って、全てのもののベースなんだと改めて感じているところです。

エコでカスタマイズしよう！

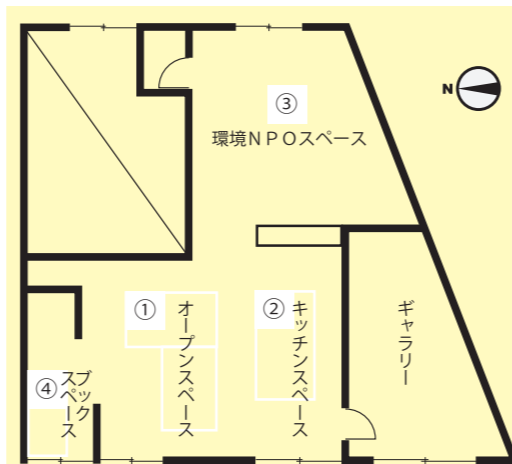


[エコロジー・ラボ室内風景]

大阪は福島区吉野町、都会の中に自然と都市をつなぐエコな生活の実践場であり、エコロジー情報の発信基地である「エコロジー・ラボ」が誕生しました。

この場所は、エコな取り組みを行う方々が集う空間です。自然素材を多く活用した室内は、都市の喧騒のエアスポットのような一味違う落ち着きのあるゆったりとした時間が流れています。ここでは、エコな想いを実践する事が大切です。必要なものだけ最小限使うそんな社会生活の実践にチャレンジすることが目標です。自然の力を上手に活用し、資源が無駄なく循環する...そんな社会を夢みる毎日です。

風の流れをうまく取り入れて酷暑の夏をクーラーなし、冬は薪ストーブ。都会で田舎暮らしの良いところを上手にミックスさせてエコでよい社会を目指したいと思います。「夏は暑く、冬は寒い」そんな当たり前の事も、都会人にとって便利で快適な生活を享受してきた者としては、当初はなかなか厳しい空間でしたが、そんなところに面白さを感じている所です。(荒山)



[エコロジー・ラボ平面図]

①と②のスペースではワークショップ等を行います。③のスペースは、環境保全に関わる団体のためのレンタルスペースです。④のスペースは、環境啓発関連の蔵書があります。また、ギャラリーを併設し環境メッセージの発信を行います。

定期活動報告②

チャレンジ！エコロジー・ラボ

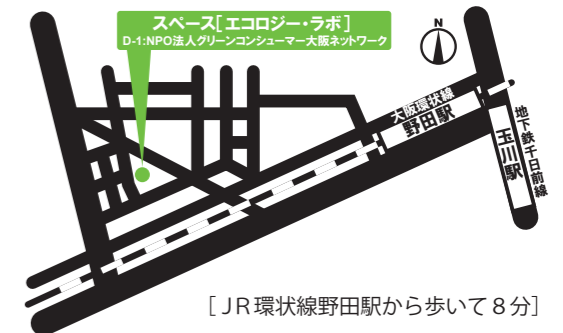


エコロジー・ラボは「環境」がキーワードの情報発信スペースです。

この空間は環境保全に取り組む方々が集い、それぞれの長所を活かしお互いが協力しあって社会への啓発・提案を行う場所です。

ここは環境に配慮したエコロジースペースとなっています。一年を通して上手に自然の力を活用できるように設計されています。未来の環境配慮社会を作るべく、さまざまな「エコな実験」に取り組んでいきます。また、お茶をしながら環境を楽しく学ぶことのできるオープンスペースもありますので、エコに興味がある方はどうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

<http://www.ecolab.or.jp/>



[JR環状線野田駅から歩いて8分]



GREEN CONSUMER OSAKA NETWORK
買い物が地球を変える